

市営プールの整備に関する市民アンケート調査等の報告について

(1) 調査の目的

本調査は第二期武蔵野市スポーツ推進計画で示されている市営プールの整備方針について、今後の検討の基礎的資料とするため、市民ニーズ等を把握することを目的に実施する。

(2) 調査の概要

本調査は、アンケート調査、ヒアリング調査（利用者および利用団体）、ワークショップの4つの手法により、市民からの広く多様な意見を収集する形で実施した。各調査概要は、以下のとおりである。

① アンケート調査

項目	概要
調査対象	市内在住 16 歳以上の市民 2,000 人
抽出方法	住民基本台帳に基づき、地域別・年齢別に無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収（インターネットによる回答も可）
実施時期	令和 4 年 8 月～9 月
回収結果	627 件（郵送回答 423 件、インターネット回答 204 件） 回収率：31.4%

② 利用者ヒアリング調査

項目	概要
調査対象	市営プール利用者（屋内及び屋外プールの利用者）
調査場所	屋内及び屋外のプールサイド・更衣室前・観覧席・受付付近
調査方法	調査票・検討案を提示し、聴き取り調査（調査票は調査員が記入）
実施時期	令和 4 年 8 月（午前から夕方までの時間帯）
聴取結果	80 人

③ 利用団体ヒアリング調査

項目	概要
調査対象	市営プール利用団体（体育協会関連・高齢者等を対象とする団体など）
調査場所	電話及び総合体育館会議室
調査方法	調査票・検討案を説明又は提示し、聴き取り調査（調査票は調査員が記入）
実施時期	令和 4 年 9 月～11 月
聴取結果	9 団体

④ワークショップ

項目	概要		
対象地域	吉祥寺圏	中央圏	武蔵境圏
開催場所	武蔵野公会堂	武蔵野総合体育館	武蔵野プレイス
参加方法	市報等による公募		
検討方法	テーマに沿ったグループによる意見交換		
開催時期	令和4年11月12日	令和4年11月12日	令和4年11月25日
参加者数	6名	9名	12名

(3) 調査結果の概要

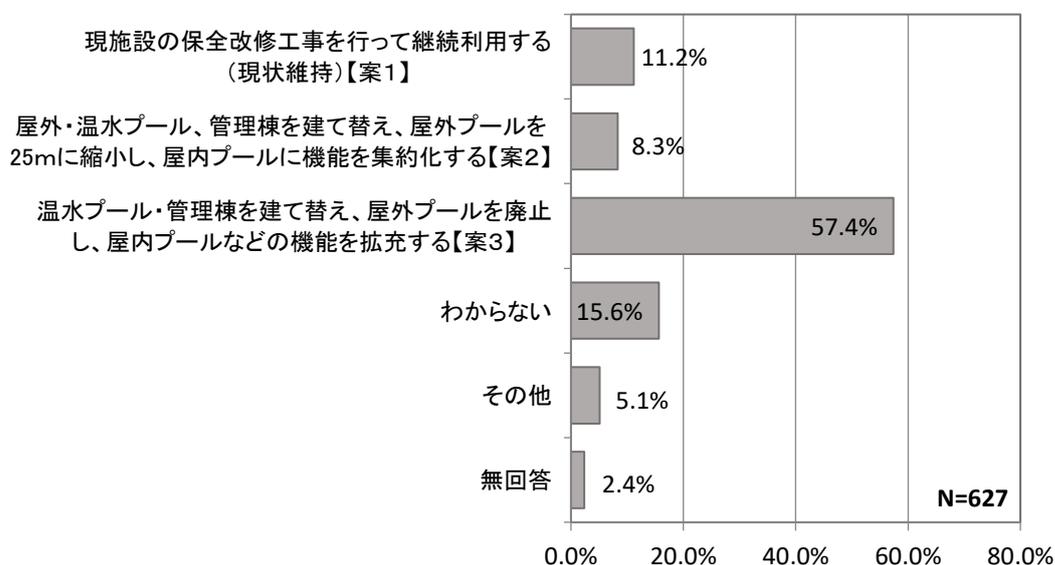
第二期武蔵野市スポーツ推進計画で示された整備検討案に対する意見について、各調査結果の概要は、以下のとおりである。

＜第二期武蔵野市スポーツ推進計画で示された整備検討案＞

- 【案1】 現施設の保全改修工事を行って継続利用する（現状維持）
- 【案2】 屋外・温水プール、管理棟を建て替え、屋外プールを25mに縮小し、屋内プールに機能を集約化する
- 【案3】 温水プール・管理棟を建て替え、屋外プールを廃止し、屋内プールなどの機能を拡充する

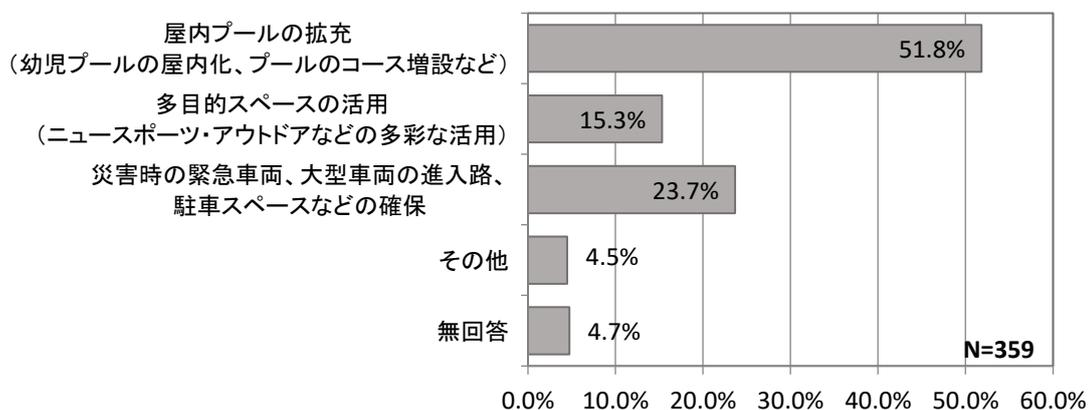
①アンケート調査

◆【案3】が6割弱、【案1】が1割強、【案2】が1割弱の順である。



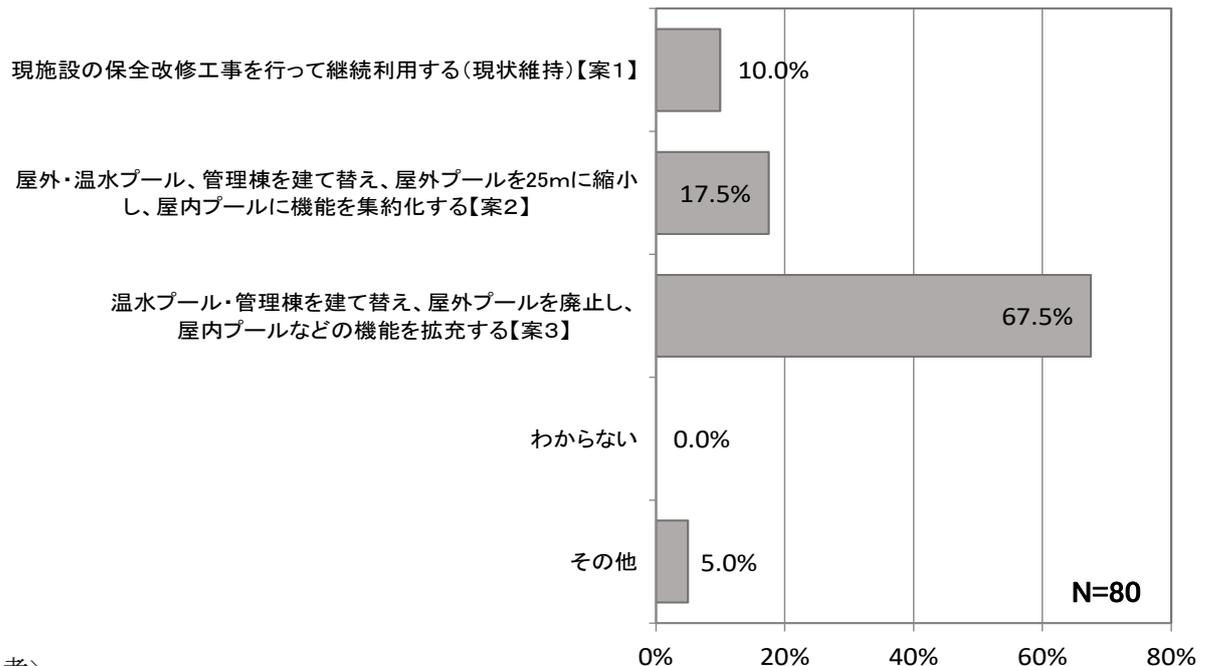
＜参考＞

市営プールの整備における機能拡充について重視したい点（【案3】と回答した人）



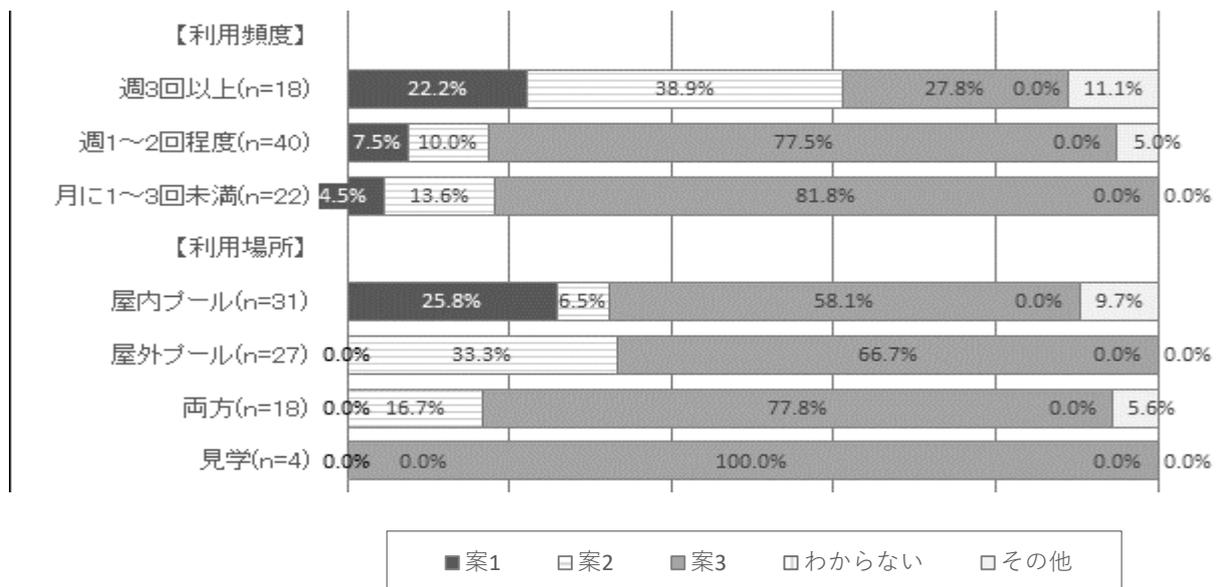
②利用者ヒアリング調査

- ◆【案3】が7割弱、【案2】が2割弱、【案1】が1割の順である。
- ◆利用頻度別にみると、ばらつきがあるが、回答者の最も多かった「週1～2回程度」の利用者層では、【案3】が8割弱、【案2】が1割、【案1】が1割弱の順である。
- ◆利用場所別にみると、ヒアリング調査当日に回答者が利用していた施設については、「屋内プール」、「屋外プール」、「両方」いずれも、【案3】が50%以上を占めている。



<参考>

利用頻度・利用場所別内訳



※集計は、小数第二位を四捨五入し、小数第一位までを表示しているため、割合の合計が 100.0% とならない場合がある。

③利用団体ヒアリング調査

- ◆維持管理費や通年利用などの理由から、4団体が【案3】を支持した。
- ◆その他の団体では、屋外空間の気持ち良さや50mコースがあることから屋外プールを残してほしいとの意見があったが、一方でコスト面での課題についての意見もあった。
- ◆競技大会を開催する団体は、屋内に50mプールがあることが望ましいが、建設費などを現実的に考えると、公認競技が可能な25m×8コース程度があれば良いとの意見があった。
- ◆全体を通して、屋内プールの設備の充実並びに動線、バリアフリー及び衛生面の改善を求める意見が多かった。

④ワークショップ

- ◆ワークショップでは、3つの整備検討案について、参加者自身の考えを付箋に書いて意見を出し、さらに、グループでの意見交換をしながら、新たに気付いた点や、他の意見を参考にして考えた点など、付箋に書き足しながら多くの意見を出していった。各案について出された意見の数（出された付箋の枚数）は、以下のとおりである。なお、付箋は1枚につき1つの意見とし、重複した内容も含まれる。

	案1	案2	案3	全体的な改善点等
肯定的な意見	36	23	27	-
否定的な意見	32	16	23	-
その他意見	11	14	18	39
合計	79	53	68	39

- ◆【案1】について、屋外プールの良さに加えて、50mプールでの市内大会が開催可能といった点や、改修費が低コストだという意見があった。一方、動線やレイアウト、バリアフリーの問題が解決しない点や、利用者、利用時期に対しての費用対効果に課題がある点も意見として挙げられた。
- ◆【案2】について、屋内・屋外両方使えることのメリットがある一方で、コストが高くなることを懸念する意見もあった。
- ◆【案3】について、プールの通年利用やバリアフリー化などの施設整備面の改善の他に、イベントや大会の開催時や災害時など、敷地の整備・有効活用の視点からの肯定的な意見が出された。一方、屋外プールがなくなることや、50mプールでの大会実施ができなくなるなどの意見もあった。
- ◆ワークショップでは、各案についての良い点、悪い点の検討だけでなく、整備全体に関わる内容についての意見もあり、参加者自身が市営プールのあり方をより深く考える機会にもなった。